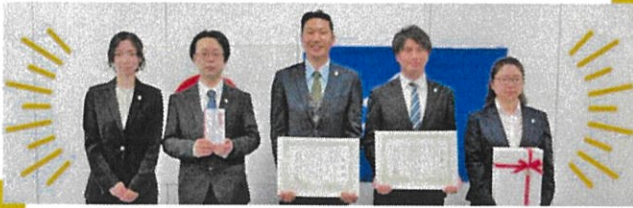


令和4年度 静岡市要介護度改善評価事業 最優秀賞を受賞しました

5つの取り組みを評価いただきました



小規模多機能型居宅介護事業所「ハートフルホーム城北」は要介護度の改善につながる創意工夫のある効果的な取り組みを行う「令和4年度静岡市要介護度改善評価事業」において、最優秀賞を受賞。その取り組みをご紹介します。

お客様のQOL・ADLの維持・改善のための 5つの取り組み

1つめ お客様ひとりひとりに合わせた 個別プログラム

リハビリ専門職である理学療法士が、お客様一人ひとりの身体機能を丁寧に評価し、状態に合ったプログラムを作成。プログラムでは目標・方法・リスク管理を明確にし、本人はもちろん、リハビリの介助に入る職員にもわかりやすく作成しています。

身体機能評価場面



理学療法士が直接お客様の身体に触れ、筋力の状態や関節の動きを確認する以外にも、立位や歩行動作を見てリスクを考慮した動作方法の指導を行ったり、適切な歩行補助具の選定に繋げることもあります。

セラバンドの活用



ゴムの性質を利用したリハビリ用具(セラバンド)を活用し、適切な負荷量で運動を行うことで、より効果が見込めます。

2つめ リハビリ専門職監修の テーブルリハビリ

リハビリ専門職の理学療法士や作業療法士がリハビリ効果を考慮して企画・作成。作業療法の視点からより効果的なテーブルリハビリを提案し、役割の創出につなげます。



4つめ 五感に働きかける 季節のレクリエーション

アクタガワ全社で推進している『五感の生活』。当施設はスタッフとお客様がともに楽しむことを大切に、季節に合わせたレクリエーションを企画しています。季節の移りを感じ、五感で感じる様々な刺激が人生をより豊かに感じさせてくれます。



3つめ 理学療法士の指導による 青空体操&Zoom体操

コロナ対策での外出控えや行動制限の中で、「どのように体力や筋力を落とさないための活動量を維持するか」が大きな課題となっていました。

ハートフルホーム城北では、リハビリ専門職と協力し、感染リスクの低い屋外での『青空体操』を推進。更にはお客様を2つのグループに分けて交代で行うなど、十分な感染対策を取った上で実施しています。また、外気に触れることで気分転換を図ることもでき、屋外に出るための歩行や段差昇降などの刺激を取り入れることも意識しています。



いつまでも自分の足で歩き、楽しく毎日を過ごしていただけるよう、スタッフ一同、これからも尽力していきます。

5つめ 役割活動の体験を通して生まれる 成功体験 そして『生きがい』

様々なレクリエーションや生活リハビリの活動の中で、お客様は残存能力を活かした役割活動を体験していただきます。

自分が「今できること」を最大限に発揮できる機会となり、成果に辿り着くことで大きな達成感を得ることができるとともに、成功体験は「自信」となって、日々の生活を支えてくれます。



菜園での収穫作業

諦めていたことへのチャレンジは、気力と意欲を目覚めさせ、自然と会話が弾み、笑顔がこぼれます。



調理活動への参加

自社検定で職員のスキルアップ
アクタガワ全体では189名、当施設でも8名が生活リハビリ検定を取得し、ケアの質を高めています

生活リハビリ検定 取得

3級 162名

2級 23名

1級 4名

静岡新聞でも
ご紹介いただきました。

要介護度改善で表彰

静岡市 5つ星事業所

これらの
取り組みにより
お客様の介護度が
改善しました!

小規模多機能型居宅介護・認知症対応型共同生活介護・居宅介護支援事業



静岡市葵区池ヶ谷6-20
TEL: 054-249-1188
電話受付: 8:30~17:30



詳しくはコチラ

